



第 28 号

令和 2 年 7 月 27 日発行
会 員 募 集 中
年会費 3,000 円
10 月以降入会 1,500 円

令和 2 年度、初の運営委員会開かれる 令和元年度決算報告、今年度の事業、予算計画を再検討 会長提案、10 周年事業に「岡山歴研の歌」を

新型コロナウイルスの感染の影響で、昨年度末から延期されてきた運営委員会が 6 月 30 日、ゆうあいセンターで開かれた。21 名の役員、運営委員会が出席した。

腰椎手術のため、入院されていた石井会長も出席された。会長挨拶の中で、10 周年事業に向けて「岡山歴史研究会」の歌を作ってはとの提案があった。

次いで事務局長より延期されてきた運営委員会の理由説明があり、昨年度の事業報告、決算報告がされた。本来、総会に諮る前の事前報告の内容とのことであった。決算報告について運営委員から各委員会の活動内容及びそれに伴う決算の内容も含めて、全体の決算をわかりやすい形で報告されるべきとの質問が多くでた。再検討するとの回答があった。

続いて、今年度の活動計画が各委員長から提案された。事業委員会が計画している秦氏に関する京都への探訪は現在、予定通り 9 月 25 日（金）に行う予定との報告。また、語り部委員会は公民館を中心に行うとの意向が示された。10 周年記念事業について、行事内容、時期について早々に決める必要があるとの意見が大勢を占めた。10 周年記念誌は来年 2 月頃完成予定で、700 部で費用は約 70 万円とのこと。このため、会報の発行を今年度は年 2 回発行することを提案、決定された。サロン委員会は継続して講演会を開催し、まず、7 月 9 日、猪風来氏による「縄文文化」についての講演を予定している。

そして、新たに 3 人を運営委委員に迎えることが提案され、同意された。

今年度は 10 周年事業を控えるため、その内容、時期、予算等を早急に再検討する必要があるとの結論に至り、次回 8 月 4 日（火）の運営委員会で再検討することが決まった。

歴・研・展・望

初夏の淡い長い雲が西から東へ流れています。この風景も瞬時に代わり、熊本県、北九州、長野、岐阜の豪雨になりました。この中で、三大山城の一つ、岐阜県岩村地方では被害はないとのことでした。友人のいる人吉町も大丈夫と聞きました。

コロナ型ウイルスの状況も被害が増加傾向にありますが、各種大会も少しずつ開催されています。岡山歴史研究会も行事開催を延期していましたが、今年秋、10 周年を迎えますので、計画的にそれに向かって会議等を実施したいと考えています。来春（4、5 月）又、来秋（10、11 月）、事情によって変化するも、期日を決めて行事を計画する時期に来ています。そして、その期日に向かって会員一致して進んで行き

たいと考えます。

さて、現在、城ブームになっています。その中で山城が注目されています。日本三大山城として、岩村城（岐阜県恵那郡岩村町）、大和高取城（奈良県高市郡高取町）そして備中松山城があります。岩村町は山田方谷の師、佐藤一斎の生まれたところ。高取町は“くすり”の町です。薬の生産、販売が昔から行われています。近くにお里、沢市の壺坂寺があります。

高梁は城下町が整備され、武家屋敷通りと町屋通りが判然としています。三大山城を訪ねてみてはどうですか。全て、素晴らしいところで、記憶に残ると思います。（会長 石井 保）

『犬養木堂＝近代日本の光と影の史実を追って』その2

板野 忠司（会員）

6 【政治家犬養木堂誕生、日清戦争】

1889 年（明治 22 年）、天皇主権の明治憲法が發布され、天皇は統治権を総攬することになった。このときの内閣総理大臣は、戊辰戦争の政府軍指揮を執り日本陸軍の祖といわれた山縣有朋（長州閥）で、軍閥・藩閥の超然内閣であった。

1890 年 7 月、明治憲法に基づき帝国議会開設のため、第 1 回の衆議院総選挙が行われた。第 1 回の衆議院総選挙は、議席 300 席、小選挙区制で記名投票、有権者は直接国税 15 円以上（現在の 60 ～ 70 万円）の直接国税を納める約 45 万人（国民の 1.1%）であり、投票率は 93.91%であった。選挙結果は野党である民党が 171 議席（板垣退助の立憲自由党 130 議席、大隈重信の立憲改進黨 41）を獲得し勝利した。与党である吏党は 129 議席（増田繁幸の大政会 79、国民自由党 5、無所属 45）であった。立憲改進黨の犬養毅（木堂）も岡山三区から当選した。木堂 35 歳の時である。以後、犬養木堂は補欠選挙を含み 19 回の連続当選をし、42 年間に政治家として過ごすことになる。

1892 年、第 2 回の衆議院総選挙は、選挙妨害などで全国で死者が 25 名出る大荒れの選挙であった。岡山 3 区では、政府（松方正義内閣）が三井物産、大日本ビール・札幌ビール社長の馬越恭平を支援し、全国で村役人や警察官を使って選挙干渉した。選挙に勝った木堂は、選挙後、むしろ無政府の方がよいと、政府の選挙干渉を鋭く批判し、帝国議会で選挙弾劾演説を行った。翌年木堂は、衆議院での民党、すなわち自由民権運動を推進した立憲改進黨と自由党を代表して、伊藤博文内閣不信任演説を行い、藩閥・軍閥の伊藤内閣を鋭く批判し、伊藤博文との対立がますます深刻化していった。

1894 年 8 月、甲午農民戦争を背景に朝鮮半島の主導権争いで日本と清が対立し、日清戦争が起こった。日清戦争には福沢諭吉・内村鑑三・犬養木堂らも直接的には反対せず、木堂は、むしろ主権国家日本の独立と対清への強硬策を主張する対外硬 6 派に加わり、清国に対する政府の弱腰を批判した。これには、後刻の政治家木堂の和平理念と矛盾し、批判も出ている。日清戦争には、陸軍第一軍司令官の山縣有朋が率いる日本が勝利し、清の植民地化が進行した。なお、この年東京に「大本營」が設置され、一時広島に移転、明治天皇も広島を訪れ帝国議会も広島で開催されるなど軍部と政府が国を挙げて戦略を遂行する柔軟な体制がとられ、それが勝因につながった。ただ、懐の深い政治家木堂は、日清戦争後は『産業立国』『アジア連帯主義』『国際協調主義』を強く主張し、軍閥批判を頻繁に行い、次第に戦争より和平を重視していく姿勢に変わっていく。

1895 年には、日清戦争勝利を受けて下関条約が締結された。日本は遼東半島、台湾の割譲など様々な利権を取得した。しかし、直ちにロシア、フランス、ドイツの 3 国が遼東半島を日本は清国へ返還するよう要求してきた。日本はこの三国干渉を受け入れ遼東半島を返還した。しかし、3 年後にはロシアが旅順を租借し、軍事基地化したため、日本は、臥薪嘗胆の反ロシア感情をいなくようになっていった。

こうして、内外の諸情勢は大きく変動する中、伊藤博文内閣と第 1 党の自由党板垣退助との連携があり、翌年板垣が内務大臣となり、敵対していた伊藤と板垣の連立内閣が成立した。朝鮮では、乙未事変で閔妃（李朝 26 代高宗の妃）が殺害され、朴泳孝も加担したとみされ日本に亡命してきた。木堂は、亡命してきた朴泳孝を温かく迎え、交流した。

7 【大隈内閣の文部大臣就任、孫文支援】

1896 年（明治 29 年）、進歩党が結成され、木堂もこれに加入した。この進歩党は伊藤博文の自由党に

対抗するため、第 2 次松方正義総理と組んで、松隈^{しょうわい}内閣を結成した。翌年、木堂は、大陸浪人のアジア主義者宮崎滔天に辛亥革命を起こすこととなる孫文を紹介され、東京の木堂の自宅で孫文と会った。清の王朝を倒し、民主化することは木堂の思想と合致、革命家孫文と親しく交流が始まる。翌年 7 月、自由党と進歩党^{しんぽとう}が組んで憲政党を結成した。そして大隈重信首相と板垣退助内相の隈板^{わいはん}内閣が誕生した。意見の異なる政党の離合集散、これは木堂の希求した民主主義と政党政治の必然でもあった。

1898 年、中国でクーデターがあり、康有為^{こうゆうい}らが日本に亡命してきたが、これも木堂が支援した。革命家や亡命者をかくまうことは、大きなリスクがあり勇気が必要だが、緊迫する国際情勢の中でこうした者を支援し、国際情勢を収集した木堂の包容力に驚く。

10 月、共和演説事件が起こった。尾崎行雄が「帝国教育会」の講演で金権万能の拝金主義を批判し、「日本が共和制になったら、三井・三菱が大統領候補になるだろう」と発言、それが天皇に対する不敬と



孫文（犬養木堂記念館所蔵）

され、文部大臣を辞任した。尾崎行雄の後任に犬養木堂が大隈内閣の文部大臣に就任した。しかし、その後憲政党が憲政党（自由党系）と憲政本党（進歩党系）に分裂し、これを受けて、第 1 次大隈内閣は総辞職し、木堂の文部大臣就任はつかの間だった。そして日清戦争を勝利に導いた山縣有朋が再び第 9 代内閣総理大臣に就任した。またしても、木堂が反発していた藩閥・軍閥内閣であった。陸軍出身の山縣有朋は、軍部大臣現役武官制、つまり陸海の大臣は現役の軍人であることを要件とする制度を導入した。文官でも予備役でも退役軍人でもダメという制度で軍の推薦がなければ組閣ができない制度だ。

この年、中国では孫文が広東省惠州で清王朝を倒すべく武装蜂起したが失敗、木堂は日本に亡命してきた孫文を支援した。当時、孫文から大砲 10 基、鉄砲 1 万丁の武器提供を台湾経由で頼むと支援依頼の手紙が木堂に届いたが、木堂は直接の武器支援はしなかった。

1901 年には、第 4 次伊藤博文内閣が貴族院の抵抗にあって退陣、第 1 次桂太郎内閣が誕生した。桂太郎は、陸軍大将で山縣有朋と同様の軍閥内閣で、木堂と対立する思想の持主であった。当時の実力者は、維新の元勳か藩閥か軍閥出身だったのだが、木堂は反発した。

1903 年には、木堂は土佐出身の衆議院議員大石正巳と中国、朝鮮半島を歴訪した。木堂の中国、朝鮮半島の歴訪は、これを含め通算 4 回にも及ぶ。アジアの植民地化を防ぎ、民主化を支援する理念と行動の一貫した木堂の進取の気性が感じられる。

8 【日露戦争、軍閥桂内閣総辞職、伊藤博文暗殺】

1904 年（明治 37 年） ロシアが満州から撤兵を約束しながら満州を占領したままの状態が続き、日本から対ロシアへの反感がおこった。ロシアと戦争すべきか否か、当時、主戦論と非戦論があった。日清戦争に反対しなかった内村鑑三^{いんちんさん}もロシアとの戦争には強く反対した。2 月、日本はロシアに宣戦布告し、日露戦争となった。日本軍は仁川に上陸、乃木希典率いる日本軍は 16000 人の犠牲を出しながらも旅順を占領、ロシアの太平洋艦隊を全滅させ、日本が勝利した。軍閥内閣の下で、日本は、全体で当時の金で約 20 億円をつぎ込み、10 万人の犠牲者を出した。この日露戦争に、木堂は消極的であったとされている。日清戦争のときと戦争に対する木堂の向き合い方が、変わってきた。

1905 年 米国の仲立ちで日露講和条約（ポーツマス条約）が締結された。敗戦ロシアは、日本に大韓帝国に対する支配権、旅順・大連の租借権、南樺太の割譲などを認めた。日本では、日露戦争に勝利し

た 1 等国としての国民意識がありながら、多数の犠牲者をだし、賠償金はみとめられず、大きな不満を残した。日本は、漢城（ソウル）に総監府を設置、初代統監に伊藤博文が就任した。この年、ベトナムの民族指導者ファウン・ボイ・チャウが来日、木堂と交流している。こうした中で、12 月には、軍閥藩閥政治に反対する木堂の追求で、第 1 次桂太郎内閣が総辞職した。

1907 年 11 月、木堂は、孫文支

援に二度目の中国を訪問し、翌年 1 月に帰国した。現在と違って飛行機はなく、外遊は船旅でリスクも多く、何日間も要したが木堂の行動力がそうさせた。

1909 年には、伊藤博文がハルピンで韓国人安重根という大韓帝国時代の朝鮮独立運動家によって暗殺され、維新以降日本をリードしてきた木堂の政敵がひとり亡くなった。国内でも政治家がこうしたテロで襲われる事件がたびたび頻発する物騒な時代に突入した。しかも、総理大臣経験者多数が標的となる治安の乱れた時代に突入した。（資料 1「政治家などの暗殺襲撃事件」 参照）

しかしこの時点で、木堂に身の危険が及ぶと察知していたわけではない。

1910 年第 2 次桂太郎内閣は、韓国併合条約に調印、朝鮮総督府を設置し、完全植民地化した。3 月、西園寺公望率いる立憲政友会が藩閥政治と妥協したことに木堂は反発し、立憲国民党を結成した。1911 年、木堂は南北朝正閏問題で桂内閣を追及、そして辛亥革命の孫文激励と情報収集のために、中国へ三度目の渡航をした。

1912 年 2 月、中国は宣統帝が 6 歳で退位、清朝は消滅、孫文は初代臨時大總統となり南京で『中華民国』建国を宣言した。3 月、袁世凱は、中華民国の第 2 代臨時大總統に就任した。しかし、袁世凱は孫文との約束をやぶり、北京に居座って皇帝就任の野心をいだき続けた。このため、孫文を支援した木堂が、この時点で孫文の辛亥革命をどう評価したかは、不明である。

当時の政治家暗殺襲撃事件（★は元総理大臣）

大久保利通	1878 年	紀尾井坂にて旧加賀藩士が暗殺
板垣退助	1881 年	岐阜で刺客相原尚褻が襲撃
★大隈重信	1889 年	外務省前で玄洋社来島恆喜が襲撃
★伊藤博文	1909 年	ハルピン駅で韓国青年が暗殺
★原 敬	1921 年	東京駅で山手線職員が暗殺
★浜口雄幸	1930 年	東京駅で右翼青年が襲撃
井上準之助	1931 年	右翼血盟団の小沼正が暗殺
★犬養木堂	1932 年	5. 15 事件で海軍将校が暗殺
★斎藤 実	1936 年	2. 26 事件で陸軍青年将校が暗殺
★高橋是清	1936 年	2. 26 事件で陸軍青年将校が暗殺
渡辺錠太郎	1936 年	2. 26 事件で陸軍青年将校が暗殺

9 【第一次護憲運動、憲政の神様、全国各地に木堂会】

1912 年（大正元年） 当時の元老は陸軍大将をした山縣有朋で、貴族院、元老、軍部からなる藩閥軍閥を形成していた。中でも最大の勢力を持っていたのが『立憲政友会』で、元枢密院議長の西園寺公望総裁が内閣総理大臣を務めていた。当時木堂は、尾崎行雄とともに立憲国民党に属し、『憲政擁護、閥族打破』の看板を掲げ、第一次護憲運動をはじめた。この第 1 次護憲運動を背景に、陸軍増強に反対したのが西園寺公望内閣であったが、そのことで内閣が総辞職に追い込まれ、長州藩閥の第 3 次桂太郎内閣が成立した。これに対しても、木堂は『藩閥・軍閥政治ではなく政党政治』を主張した。木堂の演説会場は、押しかけた群衆でいっぱいになるほど盛り上がった。木堂は、尾崎行雄とともに、『憲政の神様』と称された。木堂を支援する『木堂会』が、ほぼ日本全国各地のほかバンクーバー、シアトル、スポケン市など、約 80 か所に設立され、犬養木堂の政治的人気は急速に高まった。

当時は、天皇が帝国議会の招集、停会、解散の権限を持っていた。桂太郎内閣は、天皇の命令、詔勅を使い、何度も議会を停止させた。桂太郎内閣に対する内閣不信任案が提出されても、詔勅による停会で抵抗した。これに対し数万の群衆が衆議院をとりかこみ、騒動が全国に広がった。翌年、第 3 次桂太

郎内閣は、犬養木堂、尾崎行雄の倒閣運動により総辞職に追い込まれた。桂内閣の就任期間は、最近安倍総理が追い抜くまでは、憲政史上最長であった。1913 年、木堂は、日本に亡命してきた孫文を神戸に上陸させ、頭山満の邸宅にかくまった。孫文は、幾度となく木堂を頼って日本を訪れている。

桂内閣の次の政権も薩摩出身の山本権兵衛が担うこととなり、依然藩閥政治が続くこととなった。1914 年、山本権兵衛内閣は、現役武官制撤廃など改革に取り組んだが、日本海軍への贈賄汚職事件、シーメンス事件で退陣し、次は第 2 次大隈重信内閣となり、木堂と歩調がそろうかに見えた。



憲政の二柱（尾崎行雄と犬養毅（右））

大正 2 年 4 月岡山憲政擁護大演説会にて【犬養木堂記念館 提供】

10 【軍縮主張、対華 21 カ条要求反対、ベルサイユ条約】

1914 年（大正 3 年）7 月、オーストリアとセルビアの戦争をきっかけに第 1 次世界大戦が起こった。イギリス、フランス、ドイツ、ロシアなどが次々に参戦、日本も日英同盟に基づいて参戦し、中国に軍隊を送った。日本陸軍はドイツの東アジアの拠点青島を占領、海軍はドイツ領の南洋諸島を占領した。12 月、木堂は陸軍の軍備拡張に反対し、帝国議会で軍備縮小すべしとの予算修正演説をした。

1915 年（大正 4 年）1 月、大隈重信内閣は、中国の袁世凱政権^{えんせいがい}に対華 21 カ条の要求をした。その内容は、『山東省のドイツ租借権益を日本が引き継ぐ、旅順・青島の租借期限を 99 年間延長する、中国最大の製鉄会社を日中共同経営とする』だった。これは、中国の主権を侵害するもので、中国民衆の激しい抵抗にあった。袁世凱政権は一部を除き受諾したが、木堂は、対華 21 カ条の要求をした大隈重信総理を強く批判した。木堂は、是々非々の信念を貫き、恩師の大隈重信にも抵抗したのだ。しかし、この年の第 12 回衆議院総選挙では、木堂の立憲国民党の議席は 27 と低迷し、立憲同志会、立憲政友会、中正会に次ぐ第 4 党となった。民衆に人気のある木堂の軍縮の思想と行動に、必ずしも制限選挙の有権者は同調せず、大陸の利権や資源獲得に国民も半ば期待していたのか、木堂の主張は空転し、少数政党党首の悲哀をなめた。

この年、荻生徂徠贈位問題が起こった。大正天皇の即位大礼の贈位リストから荻生徂徠が欠落しており、木堂が政府を強く批判した。朱子学派の木堂であったが、古学派の荻生徂徠をバックアップした。東京帝国大学の三上参次は木堂に書簡を送り木堂を批判したが、丸山真男先生は、犬養の理解の深さと学問的な実証性に木堂の主張を支持した。この年、インドの独立運動家ラース・ビハリー・ボースが日本に亡命、犬養木堂が受け入れをした。民主化を企てる亡命者には、木堂の底知れぬ愛情が感じられる。

1916 年 5 月、立憲国民党の木堂は、立憲政友会の原敬、立憲同志会の加藤高明と三浦梧桜邸で 3 党首会談をした。時を同じくして、大正デモクラシーに理論的根拠を支えた東京帝国大学の吉野作造の民本主義が発表された。しかし、『主権者がだれであれ』と、明治憲法下の国家体制を批判するものではなかった。こうした中 10 月には、長州閥の陸軍大将、寺内正毅が総理大臣に就任した。一方、1917 年、ロシアで革命がおこり、3 月革命、11 月革命を経て、皇帝ニコライ 2 世が退位した。これにより帝政ロシアが崩壊し、レーニン率いる社会主義国家帝政ロシアが誕生した。こうした目まぐるしい世界の動向に大きな関心を持つ木堂は、寺内正毅内閣の天皇直属の臨時外交調査委員会委員となった。天皇直属の外交調査委員活動は政府権限を超越無視したもので、木堂の委員就任に批判が出た。木堂は、外交という視点からの国際情報を得たかったのだろう。

1918 年、軍隊への米の補給で、日本に米がなくなるとのうわさが広がった。米価は急上昇、各地で米

騒動が起こった。寺内正毅総理は、鎮圧のため全国に 10 万人の軍隊をだし、国民に発砲し、10 人以上の死者も出る大騒動となった。このため寺内内閣は総辞職、9 月、次の首相は立憲政友会総裁で平民宰相の原敬が就任した。原敬は、大規模な鉄道敷設計画、米の輸入などに取り組んだが、その一方で普通選挙については時期尚早として反対した。婦人参政権を実現したい犬養木堂の見解と大きく異なった。

1919 年、衆議院選挙の有権者が、『直接国税 3 円以上』に拡張された。それでも有権者 307 万人、国民の 5.5%にすぎなかった。衆議院の議員定数は 464 人、小選挙区制が導入されたことに、立憲国民党の犬養木堂は、この選挙制度は与党政友会に有利と批判した。この年、パリのベルサイユ宮殿で講和会議が開かれ、ベルサイユ条約が締結された。そして日本は、広東省のドイツ権益を聞き継ぐこと、赤道以北の南洋諸島の委任統治権を得た。これに反対の中国はベルサイユ条約に調印しなかった。中国各地や朝鮮で学生や労働者による反日運動が起こり、北京から 5.4 運動、ソウルから 3.1 運動が起こった。なお、平塚雷鳥、市川房枝、奥むめお 等が、『新婦人協会』を結成し、婦人参政権の獲得運動を展開し、木堂もこの運動に同調した。

11 【普通選挙運動、産業立国提示、革新倶楽部結成、逋信大臣就任】

1920 年（大正 9 年）第 14 回の衆議院総選挙が行われ、原敬の立憲政友会が 278 議席と圧勝し、木堂の立憲国民党は 29 議席にとどまった。木堂が帝国議会に提出した普通選挙法案は、時期尚早と否決された。これに抵抗して木堂は、尾崎行雄、島田三郎らと『政界革新普選同盟会』を結成し、普選運動の立て直しを図った。

1921 年、原敬内閣総理大臣が東京駅丸の内南口にて暗殺された。またしても総理を狙った政治テロ事件だ。それを受けて高橋是清内閣が成立した。アメリカの提唱でワシントン軍縮会議が開催され、日本の山東半島のドイツ権益は中国へ返還する条約が締結された。当時の木堂の演説の柱は、軍縮、貴族院批判、婦人参政権及び選挙権年齢の引き下げの普通選挙法実現、比例代表制導入選挙の実現である。特に婦人参政権の認められてないことに執拗にこだわり、政党政治実現のため、比例代表選挙導入まで主張していたことには驚くばかりである。（資料 2 「木堂演説要旨抜粋」参照）

選挙制度のあゆみ

		制限選挙			男子普通選挙	男女平等の普通選挙	
		明治22年 (1889)	明治33年 (1900)	大正8年 (1919)	大正14年 (1925)	昭和20年 (1945)	現在 (2015)
選挙人(有権者)	年 齢	25歳以上				20歳以上	18歳以上
	性 別	男 子				男 女	同 左
	納 税 額	直接国税15円以上	直接国税10円以上	直接国税3円以上	—	—	—
	有権者数	45万人	98万人	307万人	1,241万人	3,688万人	1億396万人
	全人口に 占める割合	1.1 %	2.2 %	5.5 %	20.0 %	48.7 %	81.8 %
被選挙人	年 齢	30歳以上				25歳以上	同 左
	性 別	男 子				男 女	同 左
	納 税 額	直接国税15円以上	直接国税10円以上	直接国税3円以上	—	—	—
議員定数		300人	369人	464人	466人	468人	475人

この年、日本の進路として、木堂は『産業立国』すなわち協調平和外交による産業振興策を発表した。一方でこれは、日本の帝国主義を批判するものであった。

1922 年 高橋是清内閣が総辞職、加藤友三郎内閣が成立した。東京の四谷に新居を構えた木堂は、立憲国民党を解党し、11 月に尾崎行雄、島田三郎らと新たな政党『革新倶楽部』を結成した。しかし議員数は 46 で、立憲政友会の 283 にはとうてい及ばなかった。政治理念と演説の説法は強烈だが、引き続き少数野党党首の力不足を味わった。

1923 年 9 月 1 日、関東大震災が起こり、死者・行方不明 10 万人という甚大な被害がでた。翌日の 9 月 2 日、木堂は第 2 次山本権兵衛内閣の通信大臣兼文部大臣に任命され、直ちに震災復興に取り組んだ。しかし、12 月 27 日に虎の門事件（皇太子・後の昭和天皇が無政府主義者難波大助から狙撃）が起こり、山本内閣は引責辞職した。

1924 年 山本内閣の跡を受け、貴族院議員の清浦奎吾内閣が成立したが、時代錯誤の超然内閣で、政党の存在に左右されない内閣であった。当然木堂主張の政党政治も軽視された。このため木堂は、貴族院については、選挙によらない解散もない特権階級で打破すべきと、貴族院をすどく批判した。（資料 2 「木堂の演説要旨抜粋」参照）

この年、政党主体の第 2 次護憲運動が起こり、6 月、木堂率いる革新倶楽部、高橋是清の立憲政友会、加藤高明の憲政会が提携した護憲 3 派連立の加藤高明内閣が成立した。政党内閣による大正デモクラシーは、この大正 13 年 6 月から 8 年間にわたる昭和 7 年 5 月 15 日（5.15 事件）までといえる。この時代に政権を担当したのは、2 大政党、すなわち政友会と憲政会（後の民政党）であった。木堂は、通信大臣に就任し、日本初のラジオ放送の経営主体を『公益社団法人』とすることに決定し、ラジオ放送の利権を嫌い『儲からぬ組織』にすればよいとした。なお、木堂と連携して、市川房枝が「婦人参政権獲得期成同盟会」を結成した。こうした中で、1925 年、加藤高明内閣のもとで治安維持法とともに 25 歳以上男子普通選挙法が成立、これにより有権者は 121 万人、国民の 20.8% となり有権者は 4 倍に増加した。しかし、婦人参政権は依然認められず、25 歳の選挙権年齢も下げるべきと、木堂は不満であった。（資料 2 「木堂の演説要旨抜粋」参照）

犬養木堂演説抜粋（「木堂談叢」より）

☆ 華府会議と帝国の国策（大正 11 年 1 月「木堂雑誌」第 2 巻第 1 号）

「・・・日本としては陸軍減少の大英断を為すべき好時機である。・・・しかして軍備縮小と行政改革とから生ずる費用をもって、教育事業に向かって非常なる力を用いるようにしなければならぬ。」

☆ 軍備縮小論（大正 11 年 2 月「木堂雑誌」第 2 巻第 2 号）

「軍備縮小に関する決議案の説明をいたします。・・・軍備を縮小して財政の案配を図るは今日の要務なり・・・この 22 個の師団を折半して半ばでよろしい。」

☆ 特権階級の打破（大正 13 年 3 月「木堂雑誌」第 1 巻第 3 号）

「元老と言われておる人々は、維新の元勳でも何でも無い、いわば属僚の成り上がり過ぎである、それが何で政治上の権力を振うようになったかと言うに、政党が意気地がないからである。・・・貴族院には解散がないから、政権を執った人は誰も彼もこれがために少なからぬ苦痛を味わった・・・これをたたき破らなければならない。」

☆ 普通選挙を前に（大正 13 年 3 月「木堂雑誌」第 2 巻第 1 号）

「普通選挙といっても年齢の制限は免れないが、・・・25 歳以下にその制限を下げる余地は十分にある。また性の差別によって婦人を一切除外してあるが、これは早晚どうしても選挙権を与えるようにせねばならぬ。」

☆ 普選所感その他（昭和 3 年 4 月「木堂雑誌」第 5 巻第 2 号）

「選挙区制の問題では、これを大選挙区制とし、比例代表とするがよいと思う。小選挙区では、選挙費用を少なくすることは出来ようが、少数代表を出すことが出来ない。・・・吾輩は是非大選挙区比例代表にしたと思う。」

12 【木堂政治家引退・復帰、政友会総裁、統帥権干犯問題】

1925 年（大正 14 年）5 月 14 日、革新倶楽部という小規模野党党首の悲哀を抱えての限界を感じる中、木堂は、突然革新倶楽部を立憲政友会・中正倶楽部と合同させ、政界引退を表明した。そして護憲 3 派を解消し、6 月 3 日衆議院議員を辞職し、長野県富士見村の白林荘に隠棲した。木堂の革新倶楽部と政友会を合同させた理由には、『政友会が木堂の産業立国主義を引き継ぐ約束をしてくれたこと、そして少数政党である革新倶楽部の限界認識、革新倶楽部党员への責任』があげられる。地元では、人気の木堂であるだけに中庄村県議の安原太郎さん等が木堂政界復帰運動を行った。そして、7 月行われた木堂の補欠選挙で議員を辞めた木堂が当選という珍事がおこった。選挙制度が立候補制でなくて、地元の人が辞めた木堂を再び当選させたのだ。木堂がしぶしぶながらも政界復帰を承諾したことで、地元はほっとした。政界復帰した木堂は、自分の革新倶楽部を合同させた大政党の政友会に属することになった。これが政治家木堂の運命を変えてゆくこととなり、木堂の議員辞職、隠棲から急展開していく。

1926 年（大正 15 年）、加藤高明総理大臣が病死、後任は若槻礼次郎が就任した。なお、中国では孫文の革命により誕生した国民政府の蒋介石が、張作霖率いる北京政府を倒す北伐にでた。

1927 年（昭和 2 年）4 月、金融恐慌で総辞職した若槻内閣のあと、立憲政友会の田中義一内閣が誕生した。6 月、憲政会が政友本党と合流して浜口雄幸の立憲民政党が設立された。田中義一内閣は、山東出兵により満州の權益を守る決意をした。

1928 年（昭和 3 年）第 16 回衆議院選挙で、初めての男子普通選挙が実施された。この時、木堂の立憲政友会 217 議席、立憲民政党 216 議席と競り合った。6 月には、中華民国の軍伐政治家張作霖が日本の関東軍の陰謀により奉天近郊で爆殺された。この事件で、田中義一内閣は天皇の信頼を失って退陣した。張作霖の息子の張学良は、関東軍の意図とは逆に国民政府に合流、国民党の蒋介石が北伐完了で中国を統一した。

1929 年（昭和 4 年）6 月、木堂は、南京での故孫文移霊式に国賓の礼を以って頭山満らと招かれ蒋介石とも面会した。7 月、政友会の田中義一内閣が退陣し、立憲民政党の土佐藩士であった浜口雄幸内閣が誕生した。そしてアメリカウオール街での株式急落で、世界恐慌となったそのさなか、犬養木堂が政友会総裁に就任した。政友会総裁になった理由には、『政友会の内部抗争、満州問題で大陸に強い犬養出番、長老犬養の暫定的総裁かつぎ』などが挙げられる。木堂の政友会のトップ就任が、後日の総理大臣就任の布石となる。

1930 年（昭和 5 年）1 月 ロンドン軍縮会議を受けて海軍補助艦の保有量を米英日について、日本は 100:100:70 を主張するも受け入れられず、浜口雄幸内閣は 100:100:69.75 で調印した。これには海軍軍令部が反対した。4 月 23 日第 58 議会において、政友会の鳩山一郎は、「海軍軍令部の要求を無視して、天皇の軍統帥権を犯して浜口内閣が勝手に調印したもので、統帥権干犯である」と浜口内閣を攻めた。ただ木堂自身の主張は、『統帥権干犯』を前面にだすのではなくて、浜口内閣は海軍専門家の意見を無視して調印したが、これでは軍部は納得しておらず、国防の危険があるのではないかという迫及であった。しかし、天皇の統帥権干犯の主張は、『日本を鬼胎にした正体』として、軍の不満に同調した政友会総裁の木堂に批判が出た。軍の片棒を担ぎ、批判の的となった。

11 月 14 日、浜口雄幸内閣総理大臣が東京駅で撃たれ、翌年死亡した。

1931 年 4 月、立憲民政党総裁の若槻礼次郎が第 28 代内閣総理大臣に就任した。9 月南満州鉄道の線路爆破事件が起こった。爆破は、日本軍の謀略にもかかわらず、関東軍は中国軍が爆破したと発表した。続いて関東軍は、奉天を占領した。「満蒙は日本の生命線である、満州は日本の生命線である」と、松岡洋介はコメントした。若槻礼次郎総理は満州不拡大方針を発表したが、事態收拾できず、閣内不統一に陥り、結局 12 月 11 日、ついに若槻内閣が総辞職に追い込まれた。

13 【犬養内閣誕生、犬養の満州和平交渉】

元老の西園寺公望は、天皇に犬養毅を総理大臣として推薦した。当時は、内閣が政権を投げ出したときは、野党第 1 党に政権を譲るという『憲政の常道』というルールが確立していた。元老推薦、天皇任命とはいえ、野党に政権が移る、これが当時の慣例で、現在のように国会議員が選挙で国会の多数党が総理を出す仕組みではなかった。

1931 年（昭和 6 年）12 月 13 日大命降下で政友会総裁の犬養木堂が内閣総理大臣に就任した。（写真 2）総理大臣になった理由には、民政党の浜口雄幸が東京駅で撃たれたこと及び田中義一の急死という偶然性もあったが、『長老木堂が第二政友会の総裁となっていたこと、その後任若槻礼次郎も満州事変で困っていたこと、犬養の 41 年間 18 回連続当選の実績、元老西園寺公望の満州問題話し合い解決期待』などの必然性があげられる。その背景には、満州問題で陸軍の暴走を抑えることが緊急の課題であった。そこには軍統帥権をもつ天皇と独走する軍との微妙な距離があった。そのことが昭和天皇の『犬養頼む、軍部を抑えてくれ』（犬養道子著「花々と星々と」）という秘話に如実に現れている。



犬養毅総理大臣

新聞は、犬養総理を『昭和の実盛』と記した。犬養内閣は、大蔵大臣には高橋是清を登用、金輸出再禁止と兌換停止を決定、金本位制から通貨管理制に移行、赤字公債の発行で景気拡大を狙った。1932 年、1 月市川房江ら普選獲得同盟が木堂を訪ね、婦人参政権実現を訴えた。木堂も婦人参政権を認めるべきと強く主張し婦人参政権を認める法案が衆議院を通過したが、結局は貴族院が反対し不成立となった。

木堂は満州問題解決のため、和平工作を望み萱野長知を上海に派遣した。ところが萱野から木堂への電報は、書記官長の森恪から直接軍部に流れ、和平交渉は破綻した。木堂の軍縮、満州問題の平和的解決は軍の方針と相いれず、後の 5.15 事件の原因となった。特に満州国問題で犬養内閣が軍部の求める日本の傀儡政権「満州国」を承認しなかったことは、軍部にとって最大の屈辱であった。軍部は、ラストエンペラー溥儀をたて、傀儡政権国家「満州国」を認めさせようとした。犬養内閣が満州国を承認しなかった理由は、「9 か国条約や国際連盟規約抵触、満州の主権は中華民国、犬養内閣の和平交渉解決優先」などの事情があった。

この年 2 月 20 日の第 18 回衆議院総選挙では、犬養内閣への支持は強く、木堂の政友会が 306 議席と圧勝し、第 1 党となった。この圧勝が犬養木堂総理の人気をさらに高めたが、軍部の一部に強烈な妬みと敵対心を助長した。

14 【5.15 事件、軍部ファシズム、木堂遺書】

1932 年（昭和 7 年）5 月 15 日、総理大臣官邸に海軍青年将校、陸軍士官候補生らが乗り込み、犬養首相を拳銃で暗殺した。いわゆる 5.15 事件である。この事件は、井上日召らと関係のあった海軍将校が大川周明らから資金援助を受け、首相官邸、政友会本部、日本銀行、警視庁などを襲撃したテロ事件である。首相官邸正面から三上卓中尉、黒岩勇少尉など 5 人が、裏門から山岸宏中尉など 4 人が、拳銃を持って乱入、内閣総理大臣犬養毅に『問答無用』と発射した。犬養は撃たれた直後、『今、撃ったものと呼んで来い、話せばわかる。』と言った。『話せばわかる』は、軍事裁判で今木朝子証人の証言で厳然と残っている。木堂は、撃った軍部に何を話そうとしたのか・・・

軍籍を持つ犯人は憲兵隊に自首、減刑の嘆願申請が出る中、軍法会議において、海軍は被告らに 10 年から 15 年の禁固、陸軍は全員禁固 4 年が言い渡された。さらに恩赦で減刑された。軍法会議により軍が

軍を自ら裁く裁判は、現在は特別裁判所として憲法で禁止されている。軍法会議による刑の軽さは、次の 2.26 事件の引き金となった。

木堂の葬儀主催は、国葬とはならず、寂しく政友会葬とされた。5.15 事件報道は規制され、新聞は 89 件が発行禁止、142 件が注意処分を受けた。軍が犬養毅内閣総理大臣を撃ったという報道は、一片の内務省通達により禁止された。ただひとり福岡日日新聞の菊竹六鼓編集長が犬養支持の論陣を張り、軍部批判を書き続けた。犬養家にとっては、それが唯一の味方であったという。加害者である軍に同情と減刑嘆願が起き、被害者である犬養家が肩身の狭い思いをした闇の時代、闇を打破できなかったのは歴史の必然なのか。5.15 事件の状況は、中央公論社の犬養道子の『花々と星々と』及び同社の犬養健の『追憶』に掲載されているが、読むたびに同情を超えたむなしさを痛感する。

木堂は 77 歳で亡くなった。以後昭和 20 年の終戦まで日本は軍部ファシズムに突入した。歴史に「IF」は、許されないが、総理木堂が生きていれば日本の昭和史は書き変わっただろう。木堂の崇高な民主主義理念と政党政治の在り方が、今日も問われている。最後に、政治テロが当たり前のような時代に、死を覚悟して木堂が書いた遺書があるのでご覧いただきたい。(資料 3「木堂遺書」) (完)

木堂遺書 (昭和 4 年)

- 一 葬儀は質素を旨とすること。
- 一 告別式は近親だけにて営むこと。
- 一 墓石は質素なものとし、犬養毅とのみ書きて位階勲等を記さぬこと。
- 一 横面には備中庭瀬の人、安政二年四月二十日生と死亡年月日を記すこと。
- 一 墓地は東京のしかるべきところにあること。

「岡山歴史研究会の歌・唄」ならびに「岡山の歴史讃歌」

石井会長より、10 周年記念事業の一環として岡山歴史研究会の歌を作ったら如何との提案がありました。是非、歌詞を寄せてください。詠み人知らず氏から届いた歌詞を掲載します。

「岡山歴史研究会の歌」

弥生数えて 二千年 名残留まる 岡山に
先人たちの 足跡を 究めん集い 三百人
二代の御代を 渡り来て 思えばここに 十余年
吉備の国なる 語り部の 縁起を話す 輩に
誇りを持たん 道しるべ 生き抜く道を 見出せり
先人達の 苦勞なる 来る継ぐ代へ 贈り物

訪ね歩けば ここそこに 名残、顕彰 驚きぬ
醍醐桜の 今に咲く 篤姫泊まる 矢掛宿
話題の尽きぬ 二千年 温故知新の 探訪会
恵みもたらす 三河川 奥まで入る 高瀬舟
文物運び 栄えたり 三つの城の堀となり
田畑潤す晴れの国 有り難きかな 故郷は

「岡山の歴史讃歌」

真白き三座 蒜山は 高天原に 似たらずや
茅部社の 大鳥居 学びの庭に 大き杉
大注連飾る 御社や 塩釜に湧く 水清し
大石立てて 朱を敷きて 何処と交じる 楯築に
眠れる主は 誰なるや 渦巻く模様 力なり
弥生の文化 墳丘墓 大和の国に 魁けり
温羅を平らぐ 吉備津彦 桃太郎なる モデルなり
国の宝の 御社に 神と祭られ いまもなお
賊を平らげ 民やすむ (平賊安氏) 三島中洲 揮毫せり
日出る国の 先人に 吉備の国にも 漢あり
瀬戸なる海を 乗り越えて 異国の文化 修め来る
国の基を 築きしは 遣唐使なる 真備公

津山の城の 石垣に 栄華を添える 花吹雪
続く藩医の 業績に 珈琲の名も 見い出せり
桜に刻す 高德の 誠の果ての 作州路
米の生る木を まだ知らぬ 光政公の 閑谷校
俚約令の 証なる 後樂園の 奥ゆかし
綱政公の 手足なる 津田永忠の 心意気
話せばわかる 木堂は 昭和三傑 無欲にて
血気に逸る 将校の 問答無用 可とせず
民主の国を 目指したる 銅像仰ぎ見たりなり
真金吹く吉備 生み出すは 名刀長船 響きたり
方谷が成す 鋏や斧 生業起こす 礎は
古き昔の 習いなり 今に伝えん 吉備の国

野崎家 塩業歴史館

公益財団法人竜王会館 事務長 辻 則之

岡山県倉敷市児島味野にある野崎家塩業歴史館は、江戸時代後期に日本の塩田王とうたわれた野崎武左衛門が一代で築いた壮大な邸宅と手入れの行き届いた庭園、それに蔵を改造した展示館からなっている。

昭和 52 年に岡山県の史跡に「野崎家旧宅」として指定され、昭和 62 年から、一般に公開している。平成 7 年に国から塩業の歴史博物館として登録され、平成 18 年には国の重要文化財(建造物)に指定され、当館を管理する財団法人竜王会館は、平成 24 年に岡山県の博物館・美術館としては初めて公益財団法人に認定された。

創始者・野崎武左衛門は寛政元年(1789)に児島味野に生まれた。若くして小倉足袋の製造販売を始め資金を蓄えて、文政 12 年(1829)にまず味野浜 33 町歩の塩田を開き、続いて赤崎浜 15 町歩、玉野市日比の亀浜・玉野市胸上の東野崎浜・邑久郡の久々井浜など、生涯に塩田 161 町歩余りを開発した(味野の野と赤崎の崎から野崎と名乗った。それ以前は昆陽野)。また、嘉永 5 年(1852)には藩命により水島地区の福田新田 652 町歩の干拓にあたるなど、江戸時代後期における岡山藩の大事業家であった。

その武左衛門が全盛期に築いた旧野崎家住宅は約三千坪の敷地に御成門・長屋門・主屋・表書院・威風堂々と軒を連ねる土蔵群など、その延床面積は約千坪になる。表書院は野崎家の中心となる建物で貴賓の応接にあてられており、上の間・下の間・茶室・表玄関などからなっている。中座敷は、武左衛門が住まいの中心としていた、総奥行き 23 間(42 m)の中座敷。明治時代の窓ガラス、障子、襖、廊下など、当時の姿を保ち高雅な趣を漂わせている。庭園は枯山水で、表書院から鑑賞できるように構成されている。大・中・小の飛び石が造形的に配置されてある。中でも直径 3 メートルもあるお駕籠石は武左衛門が最初に開発した野崎浜塩田の地形に似ている。庭内には観曙亭・容膝亭・臨池亭の三席の茶室があり、涼やかな水琴窟の音色も楽しめる。2 月から 3 月には藩主より拝領した大型の享保雛を展示している。

文書は、昭和 39 年に蔵を開放して岡山大学の谷口澄夫先生を中心に多くの先生方に調査して頂き、特に太田健一先生は半世紀を費やし小西増太郎、台湾塩行などを、調査して頂いた。令和元年からは、大阪大学の飯塚一幸先生を中心に、青山学院大学、神戸大学、京都大学、佐賀大学、愛媛大学、二松学舎大学、岡山大学と岡山県立記録資料館、倉敷市歴史資料整備室の先生方が、野崎家史料より多分野にまたがる学際的研究を行っている。

「塩づくり体験館」では昔ながらに濃い塩水を土鍋で煮詰めて塩をつくり、展示品などを見ながら昔と今の塩づくりを当館の学芸員がわかりやすく説明している(要予約)。

博物館 野崎家塩業歴史館

〒711-0913 倉敷市児島味野一丁目11-19

TEL (086) 472-2001 FAX (086) 472-2636

<http://www.nozakike.or.jp>

E-mail: nzk_tsuji@mx5.kct.ne.jp

■公開時間 9:00 ~ 16:30 (17:00 閉門)

■休館日 毎週月曜日(但し祝日の時は翌日)
年末年始(12月25日~1月1日)

■入館料 大人 500 円 小・中学生 300 円
団体割引(30 名様以上 2 割引)

※高校生以下は土・日・祝日は無料



●JR児島駅から徒歩25分
●児島インターチェンジから車で10分

「京都・謎の秦氏ゆかりの地を訪ねる」 従来通り実施予定！

新型コロナウイルスの感染で心配された京都の探訪会は、従来の計画通り下記の要領で実施する予定です。

万一、中止する場合は追って何らかの方法で関係各位に連絡します。

探訪先：京都市内

日 時：令和 2 年 9 月 25 日(金)7:00～20:00(雨天決行)

定 員：49 名(先着順、定員になり次第締切り)

集合場所&時間：

次の 2 か所の内、いずれかを指定ご連絡下さい。

〔倉敷駅北口高速バス乗降場 6:45
岡山駅西口バス乗降場 7:45〕

帰着時間：岡山駅 19:00 倉敷駅 20:00 頃

参加費：7,000 円(弁当、飲み物込み)当日集金

キャンセル負担金(後日徴収)

開催の 7 日前 9/18～2 日前 9/23 は 5,000 円

前日 9/24～当日 9/25 は 6,000 円

案内講師：佐藤光範顧問 山田良三事務局長

探訪コースと概要：

- ①「嵐山・松尾大社」秦氏の氏寺、大杉谷の磐座がご神体。幹部神職は秦氏。
- ②「嵯峨愛宕町・愛宕神社」大宝年間に白山の開祖、秦澄により朝日峰に神廟を創建。
- ③「太秦・広隆寺」秦河勝が聖徳太子から賜った弥勒菩薩を本尊。本堂に聖徳太子像を安置。
- ④「太秦・大酒神社」秦始皇帝、弓月の君、秦酒公を主祭神とする神社。
- ⑤「伏見・伏見稲荷神社」和同 4 年 2 月の初午に秦伊呂具により稲荷大神が鎮座。

参加ご希望の方は名前、住所、電話番号、バス乗車駅を明記の上、電話、Eメール、はがき、FAX 等でお申込み下さい。また、同伴者の場合は連名で同様お申込み下さい。

申込み先及び連絡先：

〔電 話：090-4654-8964 (工藤 博)
Eメール：sw225442@tw.drive-net.jp (工藤 博)
はがき：〒710-0803 倉敷市中島 2007-8 (工藤 博)
FAX：086-466-0192 (工藤 博)〕

10周年記念誌 原稿 再募集のお願い

10 周年記念事業の一環として、記念誌の発行を来年、令和 3 年 2 月末を目途に鋭意努力しています。

これまで、会員各位から、岡山歴史研究会との関わり、感想、歴史の持論等をテーマに寄稿を 800 字以内でお願いしてきたが、未だ十数名の応募に留まっています。

そこで、字数制限を拡げて 2,000 字以内とし、かつ

テーマも自由として、8 月末頃までに投稿を、運営委員はもとより、できるだけ多くの会員の皆様をお願いします。

執 筆：ワープロソフト(ワード又は一太郎)

送付先：編集委員長 井上 知明宛

inoueto@gold.ocn.ne.jp

〒710-0051 倉敷市幸町 9-45-302 井上 知明

編集後記

新型コロナウイルスの感染防止のため、マスクが常識となってきた。暑い夏に思いやられる。加えて、コロナだけで通用するようになり、NHK でもコロナがどうだと発言している。微生物学をかじった者から見れば、新型のコロナ型のウイルスが正式と考える。短く言う場合、ウイルス、またはコロナ型ウイルスが正式と思うが、どうでしょう。言葉は正しく使いたいもの。

あいにくそれが原因で、今年度は総会も開けず、やっと 6 月末、運営委員会が久方ぶりに開かれた。今年度は 10 周年記念事業開催の予定。今一度、内容、時期、財政面等での再検討が決まった。その一つ、会長より「岡山歴研の歌」を作ろうとの提案があった。是非、作詞して投稿下さい。

板野氏の「犬養木堂」を読み返し、「木堂先生」は、と一言で言えないことがわかった。いつの時代も難問

山積ですが、あの時代に、立憲政治、民主政治を主張し、運動したことは尊敬に値すると感じた。

その同時代、塩作りに精を出した野崎家の塩業歴史館を紹介してもらった。小学 3 年の秋の旅行が鷺羽山と児島の塩田の見学だった。隔世の感がある。(楠)

発 行 岡山歴史研究会
会 長 石井 保
編集長 楠 敏明
事務局 〒701-0204 岡山市南区大福415-14
山田 良三方
電 話 090-1033-3327 (携帯電話)
FAX 086-806-2525
メール okayama.rekiken@gmail.com
ホームページ <http://b.okareki.net/>